

議事概要記録

開催日時	平成 27 年 6 月 27 日 (土) 15 : 30 ~ 17 : 00	開催場所	済生会和歌山病院 7 階講堂
会議種別	平成 27 年度 第 3 回理事会	議長	畑 忠良
		書記	田中 規仁
出席者 〈敬称略〉	玉置 達紀、竹中 正人、畑 忠良、大石 博晃、田中 規仁、蓬台 克之、丸澤 佳子 瀧口 良重、久保 光史、神藤 洋次、脇村 小津江、田原 靖子、勝山 浩樹、13名		
欠席者 〈敬称略〉	木下 博之、石井 啓子 栗林 伴有、村田 正吾	オブザーバー	
次 第			
議事概要	<p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会長報告 2. 常務理事会報告 3. 事務局報告 4. 学術部報告 5. 経理部報告 6. 各種委員会報告 <ul style="list-style-type: none"> (ア) 公益事業活動 (イ) 定款・渉外 (ウ) 災害対策委員会 (エ) 精度管理 (オ) データ標準化 (カ) 会誌編集 (キ) ホームページ (ク) 会報 (ケ) 月例行事予定表 7. 連盟 8. その他 <p>審議事項</p> <p>会員旅費規定に関する運用内規 について</p> <p>リレー・フォー・ライフ・ジャパン・わかやま について</p>		
決議事項 及び 継続事項	<p>定刻に、議長・畑副会長より開会宣言があった。</p> <p>ひき続き、玉置会長より挨拶があった。</p> <p style="text-align: center;">報告事項</p> <p>会長報告</p> <p>平成 27 年度総会の後に、第 1 回和臨技災害対策検討委員会開催したと報告があった。4 月からの日臨技災害対策委員会発足に合わせ、日臨技が進める災害対策マニュアル (9~10 月頃策定予定)、あるいは新潟県技師会の災害対策マニュアルを参考にした和臨技災害対策マニュアルの整備を、数年かけて進めるとのことであった。</p> <p>また、第 2 回の和臨技災害フォーラムの開催にむけて準備していると報告があった。</p>		

まずは和歌山県下各施設において使用試薬と機器（POCT 含）の調査を行う準備段階に入ったと報告があった。

和臨技海外研修事業について、予定していた人数よりはるかに多い 17 名の参加募集があった（内訳は、検査学校学生 5 名・検査学校教員 2 名・検査技師：10 名（和臨技会員 2 名））と報告があった。

病院協会会長とメディカルスタッフ団体会長との懇談会について、6 月 23 日に開催されたと報告があった。この会で、厚労地域医療計画課・北波課長から「地域医療構想について」の講義があり、その時の資料が配布された。2025 年には和歌山県下の病床数が 13.1 万から 9.5 万へと約 3.6 万床減ると推計されていることや、公立病院の病床数について、知事権限にて調整される方向で進んでいるとの説明があった。また、成川会長は今年度いっぱい病院協会会長を勇退されるとのことであった。

常務会報告

検査説明・相談が出来る検査技師育成講座について、今年度は 12 月 5-6 日の開催で調整中であること、佐守先生の都合がつかないため、兵庫医大の小柴先生で調整していると確認したことを報告した。

今年度の総会の問題点について検証し大筋は良いとしたが、若干の問題点について検証したのちに総会運営規程を作成することを確認したことを報告した。

第 2 回の理事会にて指摘があった個人名領収書に対する対応について検討し、支払証明書を用いて処理することを経理部長から提案があり確認した。後の経理部報告で審議し本理事会で承認頂きたいとお願いした。

学術部より和歌山県医学検査学会ガイドラインでの講師料については、会員旅費規定に関する運用内規より引用し、会員が講師にかかる行動費として「30 分以内 3,000 円、30 分を超えた場合 5,000 円」を引用することを確認し、和歌山県医学検査学会ガイドラインへ反映させることの申し入れがあった。

第 55 回日臨技近畿支部医学検査学会一般演題座長候補者推薦について、学術部長が調整することで確認したと報告した。

事務局報告

以下について報告した。

6 月 3 日にチーム医療実践セミナー京都 2015 開催に伴い後援名称使用依頼が京臨技より依頼があった。

6 月 4 日にピンクリボン in 和歌山でのブース出展依頼がピンクリボン in 和歌山よりあった。

6 月 15 日に地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律の一部施行(医療事故調査制度)について、医療事故調査等支援団体への参画表明をした旨の通達が日臨技よりあった。

6 月 15 日に和歌山県病院薬剤師会役員改選の挨拶があった。

6 月 18 日に第 20 回和歌山県病院協会学術大会への協力要請が病院協会よりあった。

6 月 24 日に島根県臨床検査技師会役員改選の挨拶があった。

6 月 24 日に日本衛生検査所協会・新会長就任の挨拶があった。

6 月 26 日に鳥取臨床検査技師会役員改選の挨拶があり、和歌山県栄養士協会からも役員改選の挨拶があった。

6月26日に県医務課より平成27年度保健衛生（医事）功労者賞（知事感謝状）推薦があり、森下拓哉技師（済生会有田）を推薦することで手続きを開始する旨の報告をした。

学術部報告

第18回学術部一泊合同研修会の報告があった。また、学術部PCおよびプロジェクターの老朽化により、予算が付き次第、順次購入予定と報告があった。第55回日臨技近畿支部医学検査学会一般演題座長候補者推薦について、各研究班班長に候補者の選出を打診中とのことであった。

経理部報告

個人名の領収書に対する対応について、和臨技会員および講師などの個人名で作成された領収書が多くみられた問題について、有識者の見解として

- 良識の範囲内での居酒屋領収書は慰労会として認められるところではあるが、参加者全員での領収書は避け、講師のみの居酒屋領収書で処理する。
- それが出来ない場合は、講師分のみを支払証明書（支払実施者の署名、印鑑は必ず必要）の使用をすすめる。
- 領収書を紛失した場合でも使用できるが、それらが多くなると同じような議論になるので、出来る限り現状を維持しながら、使用していけばいい。
- 本来、支払証明書とは自動販売機で購入した場合や、祝儀（ただし招待状の写しは必要）など、領収書が無いもしくは貰えない場合などで使用するものである。
- 理由にもよるが、高額なものには使用できず、また頻回に使用するものでもない。

とのことであった。

よって、なぜ領収書がないか明確な理由を記載し、かつ簡潔な理由（例：講師の親睦会費として）を書いて処理すればよい、と意見を頂いたと報告があった。

それらを踏まえて、和臨技書式の支払証明書（学術用・総務用の2種）を作成し運用したい旨の提案を前回の常務理事会で確認し、本理事会にて承認して頂きたい旨の申し出があり、全会一致で承認された。

各種委員会報告

公益事業活動

ピンクリボン活動

6月4日にピンクリボン in 和歌山でのブース出展依頼がピンクリボン in 和歌山よりあったが、予算が限られている事や27年度事業計画で既にピンクリボン南紀のみの参加と決定されていたことにより、辞退したとのことであった。

HIV

特になし。

医療セミナーinわかやま

粛々と進行中とのことであった。

定款・渉外

特になし

災害対策委員会

5月30日の総会后18時まで第1回委員会を開催し、委員長・副委員長の互選、委員会の役割、日臨技災害対策委員会との関わり、委員会の活動計画・他団体（行政・臨葉卸連合会等）との連携についての審議と確認をしたと報告があった。

今年度の和臨技災害フォーラムでは、行政関係からの講師として当初、県業務課からの講師派遣を予定したが、災害支援車両や災害支援ヘリコプターなどの運用方法について県警へ講師派遣をすることへ変更があったと報告があった。

精度管理

今年度の和臨技サーベイについて、6月22日の申込期限にて54施設の申込みがあったと報告があった。8月31日に和医大中検で試料調整と発送を行うと報告があった。

和臨技ホームページにサーベイの概要とスケジュールを載せたい旨の申し入れがあり承認された。

また、FAX回答の申込みが10施設、CD使用不可施設が2施設あった。今後、FAX報告などの、精度管理委員側の代行入力を伴う運用を、次々年度をもって廃止したい旨の周知を行って行きたいと申し出があり、承認された。

データ標準化

特になし

会誌編集

今年度は8月から募集を開始するとのことであった。

ホームページ

特になし。

会報

特になし。

月例行事予定表

特になし。

連盟

7/3に向日市長 安田守氏当選祝賀会があると報告があり、出席するとのことであった。

その他

和歌山糖尿病研究会委員について、江川先生から当会事務局へ委員推薦要請を行ってほしい旨の申し入れを、河内委員を通して行うことを確認した。

審議事項

	<p>会員旅費規定に関する運用内規について、曖昧な表現について見直したと定款検討委員会より申し入れがあり、理事会承認をうけ、翌6月28日から発効することを確認した。</p> <p>当会はリレー・フォー・ライフ・ジャパン・わかやまの活動を後援している。よって公益事業にてブースを出してはどうかと意見があった。今後の検討課題とした。</p>				
記録作成	平成27年7月10日	氏名	田中 規仁	提出	平成27年7月13日

※ 諮問委員会で「報告書」が提出される場合、「委員会議事録」が別途作成添付される場合は添付資料で可